



# 登別市社会福祉協議会によるふれあい・いきいきサロン推進事業（北海道登別市）

- ふれあい・いきいきサロンは、登別市地域福祉実践計画「きずな」に基づき、地域で生活している高齢者を中心に地域住民が気軽に集まり、ふれあいを通して生きがいづくりや仲間づくりの輪を広げていく活動です。
- 市内では、町内会・民生委員児童委員・個人等、様々な方が運営主体となり、年間延べ1,372回開催、延べ15,998人が参加しています。
- ふれあい・いきいきサロンの運営を通して、高齢者との緩やかな関係のもと、“お互いに支え合う”視点を持って、高齢者をさりげなく支える方を『サロンサポーター』として養成しています。

## 《ふれあい・いきいきサロン推進事業の概要》



↑ 場外馬券場を活用した麻雀サロン



↑ 子どもも参加するサロンでの流しそうめん

## 地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①市区町村名	登別市
②人口（※1）	50,985人（ ）
③高齢化率（※1） （65歳以上、75歳以上それぞれについて記載）	30.1%（65歳以上）（ ） 14.4%（75歳以上）
④取組の概要	高齢者等の安心した生活を支援するため、地域住民が主体となった住民福祉活動を推進するとともに、行政や専門機関と連携した高齢者支援システムの構築を図る。
⑤取組の特徴	住民福祉活動においては、高齢者等を単にサービスの受け手とするのではなく、ご近所同士のゆるやかな関係の中から、相互に支え合い、楽しみながら生きがいくりと介護予防をめざすふれあい・いきいきサロンの推進を拡大するとともに、主体的な取り組みを担う運営者（サロンサポーター）等の人材育成に取り組む。
⑥開始年度	平成20年度
⑦取組のこれまでの経緯	平成12年度に市内6カ所でモデル事業として、平成20年度には正式な事業として実施。年々市民の関心も高まり、現在市内42カ所で開設している。
⑧主な利用者と人数	高齢者を中心に、子どもから高齢者まであらゆる世代が集える場となっており、年間延べ1,372回開設、15,998人（平成24年度実績）に利用頂いている。
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	【実施主体】町内会・民生委員児童委員・NPO団体・老人クラブ・ボランティア等 【関連する団体・組織】地域包括支援センター・市役所（高齢介護グループ・国民健康保険グループ等）・室蘭警察署等
⑩市区町村の関与（支援等）（※2）	かるやか体操の指導や栄養教室等、各サロンでの講話等の際にご協力頂いている。また、サロン運営者の情報交換の場である「サロンサポーター連絡会」には毎回ご参加頂き、何かあった際にはすぐにつながる関係づくりを行っている。
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※3）	特になし。
⑫取組の課題	地域住民にいかにも本事業を理解頂き、活動を継続させていくかが課題。利用者や運営者の想いに寄り添ったコーディネートと赤い羽根共同募金を活用した運営費助成のあり方について検討が必要である。
⑬今後の取組予定	活動の継続性を担保していくため、運営者の情報交換やスキルアップの機会を充実させて行くと共に、各サロンに対する運営費助成を見直していきたい。
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	社会福祉法人 登別市社会福祉協議会 TEL 0143-88-0860/FAX 0143-88-4546/

※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。

※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。